

平成21年度 川崎市柿生学園の管理運営に対する評価について

1 指定管理者

(1) 指定管理者	社会福祉法人川崎市社会福祉事業団(川崎市中原区小杉町3-245)
(2) 指定期間	平成18年4月1日 ~ 平成23年3月31日
(3) 業務の範囲	<ul style="list-style-type: none"> ・施設入所支援、生活介護、短期入所に関する業務 ・相談支援 ・居宅において介護を行なう者の疾病その他の理由によって介護を必要とする障害者に対する昼間における排せつ又は食事の介護その他の便宜の供与に関する業務 ・共同生活介護に対する支援・連携 ・施設の利用契約に関する業務 ・管理施設等の維持管理に関する業務 ・利用者意見の把握及び事業への反映に関すること。等

2 管理運営(事業執行)に対する評価

評価項目	平成21年度管理運営の状況	評価及び指導
(1) 管理業務の実施状況		
① 施設・設備の維持、管理に関する業務	<p>施設の老朽化が顕著で、設備の耐用年数を超えているものが多く、故障も多いが、速やかに修理・交換を行うなど、業務に支障が出ないように対応している。</p> <p>施設の総合管理や給食業務等については専門業者に委託している。</p>	<p>専門業者に外部委託することによって、効率的かつ適切に維持管理し、故障等にも迅速に対応できていることは、評価できる。</p>
② 職員配置及び研修の状況	<p>15人を単位とした4ユニットを各グループごとローテーション勤務によって24時間365日支援を行っている。</p> <p>職員研修については、対人援助サービスを行う専門職としての質、モチベーションを高め、より満足を得られるサービスが提供できるよう、また、意欲に満ちた成熟した組織となるよう、計画的に研修を実施し、施設内の発表研修も行った。</p> <p>《内部研修》6回(参加人数計158人)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・心肺蘇生とAEDの使い方 ・理学療法の基礎について ・園内研究発表会 ・自閉症に関する研修会等 <p>《外部研修》9回(参加人数計14人)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・専門職てんかん講座 ・自閉症実践療育講座 ・障害福祉施設関係者等研修会 ・知的障害高齢者の食事作り 等 	<p>今後も職員の確保や欠員の補充に努め、質の高いサービス水準を確保すること。</p> <p>研修については、内部研修のほか外部研修にも積極的に参加し、職員の資質向上に努めていることは、評価できる。</p>
③ 関係機関との連携や地域とのつながり	<p>麻生福祉まつり、片平小学校バザー等の地域行事への積極的な参加や地域の子供、障害者団体等への施設開放によって地域交流を深めている。また、施設長は麻生区社会福祉協議会の評議員として地域福祉の一端を担った。</p>	<p>園内外の行事への参加等によって、積極的に地域との交流を図っていることは、評価できる。</p>
④ 利用者の健康管理	<p>年2回健康診断を実施するとともに、看</p>	<p>健康診断や日々の確認等によ</p>

	<p>護師と支援員が連携して、排泄・排便記録等、日々の観察によって疾病予防に努めた。また、転倒が骨折等の大きな事故に繋がらないよう、危険箇所には緩衝材を張り付けるなどの環境整備を行った。</p>	<p>って、職員が連携して、利用者の健康管理に努めてる。 今後も適切な対応をすること。</p>
⑤ 安全管理への取り組み	<p>ヒヤリハットの事例を毎月の運営会議で検証し、事故の再発防止に努めている。また、事故発生時は事故対応を第一とし、その後、管理者等まで報告する体制をとっている。 転倒が骨折等の大きな事故に繋がらないよう、危険箇所には緩衝材を張り付けるなどの環境整備を行った。 事故件数 35件(うち受診20件)</p>	<p>日ごろから事故防止に努めており、転倒等による事故対策に取り組んでいることは、評価できる。</p>
(2) 利用状況		
① 利用状況	<p>《入所》 ・在籍数 58(男29人、女29人) ・利用者数 延べ20,650人 ・入所 4人、退所 5人 (CH3人、施設1人、在宅1人) 《短期入所》 ・契約者数 84人 ・利用者数 延べ877人 《日中一時支援》 ・契約者数 23人 ・利用者数 延べ11人</p>	<p>各事業とも高い稼働率で運営されていることは、評価できる。</p>
② 利用者支援	<p>利用者や家族等へのアセスメントから作成した個別支援計画、栄養ケアマネジメントに基づいて、生活支援と施設入所支援による利用者一人ひとりのニーズに応える支援プログラムを提供した。 《日中活動作業》 簡易加工、缶リサイクル、運動レクリエーション ・実施日数 計708日 ・参加人数 計81人 ・利用者への還元額 733,960円</p>	<p>利用者の個別ニーズに対応した個別支援計画、栄養ケアマネジメントが策定され、サービスが提供されていることは、評価できる。</p>
③ 給食の提供	<p>利用者への嗜好調査、希望メニューの聞き取りを実施し、誕生日メニュー等に取り入れている。また栄養ケア計画書を作成し、常食・刻み食・ミキサー食等の食形態を用意して、個々の状態にあった食事を提供した。 《食事提供》 ・入所 延べ60,357食 ・短期入所 延べ2,097食 ・日中一時利用 延べ11食 (原則外食のため)</p>	<p>献立や調理方法に利用者の嗜好や状況等が配慮されていることは、評価できる。</p>

評価項目						
(3) 収支状況						
① 収支状況	<p>《入所更生施設》</p> <table border="1"> <tr> <td>収入</td> <td>489,842,239 円</td> </tr> <tr> <td>給付費</td> <td>239,984,270 円</td> </tr> </table>	収入	489,842,239 円	給付費	239,984,270 円	<p>収支は良好で経営状態は安定している。今後も質の高いサービス水準の維持・更なる向上を図り</p>
収入	489,842,239 円					
給付費	239,984,270 円					

	<table border="1"> <tr> <td>利用料</td> <td>36,685,434 円</td> </tr> <tr> <td>委託料</td> <td>208,737,000 円</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>4,435,535 円</td> </tr> <tr> <td>支 出</td> <td>403,262,786 円</td> </tr> <tr> <td>人件費</td> <td>273,611,033 円</td> </tr> <tr> <td>事業費</td> <td>74,681,353 円</td> </tr> <tr> <td>事務費</td> <td>53,349,086 円</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>1,621,314 円</td> </tr> <tr> <td>差 額</td> <td>86,579,453 円</td> </tr> <tr> <td colspan="2">《短期入所》</td> </tr> <tr> <td>収 入</td> <td>31,396,165 円</td> </tr> <tr> <td>給付費</td> <td>7,565,897 円</td> </tr> <tr> <td>利用料</td> <td>910,364 円</td> </tr> <tr> <td>委託料</td> <td>22,833,000 円</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>86,904 円</td> </tr> <tr> <td>支 出</td> <td>20,419,334 円</td> </tr> <tr> <td>人件費</td> <td>18,102,444 円</td> </tr> <tr> <td>事業費</td> <td>2,055,166 円</td> </tr> <tr> <td>事務費</td> <td>260,287 円</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>1,437 円</td> </tr> <tr> <td>差 額</td> <td>10,976,831 円</td> </tr> </table> <p>全体として、収入のうち給付費等が55%、市からの委託料が44%。また、支出のうち人件費が69%となっている。</p>	利用料	36,685,434 円	委託料	208,737,000 円	その他	4,435,535 円	支 出	403,262,786 円	人件費	273,611,033 円	事業費	74,681,353 円	事務費	53,349,086 円	その他	1,621,314 円	差 額	86,579,453 円	《短期入所》		収 入	31,396,165 円	給付費	7,565,897 円	利用料	910,364 円	委託料	22,833,000 円	その他	86,904 円	支 出	20,419,334 円	人件費	18,102,444 円	事業費	2,055,166 円	事務費	260,287 円	その他	1,437 円	差 額	10,976,831 円	適切な執行に努めること。
利用料	36,685,434 円																																											
委託料	208,737,000 円																																											
その他	4,435,535 円																																											
支 出	403,262,786 円																																											
人件費	273,611,033 円																																											
事業費	74,681,353 円																																											
事務費	53,349,086 円																																											
その他	1,621,314 円																																											
差 額	86,579,453 円																																											
《短期入所》																																												
収 入	31,396,165 円																																											
給付費	7,565,897 円																																											
利用料	910,364 円																																											
委託料	22,833,000 円																																											
その他	86,904 円																																											
支 出	20,419,334 円																																											
人件費	18,102,444 円																																											
事業費	2,055,166 円																																											
事務費	260,287 円																																											
その他	1,437 円																																											
差 額	10,976,831 円																																											
(4) その他																																												
① 利用者からの要望・苦情等への対応	受付窓口等を明示し、法人の要綱及び施設のマニュアルに基づいて、苦情を受け付け、運営委員会でも検証を行った。	苦情相談の受付体制が整備されており、委員会で検証もされていることは評価できる。																																										
② 個人情報の保護	個人情報の重要性を職員間で確認するとともに、法人が定める要綱及び施設独自で定めた基本方針に従い、適正な保護に努めた。	今後も個人情報保護の徹底を図ること。																																										

3 管理運営(事業執行)に対する全体的な評価

施設の管理運営については、全体として適切に行われている。研修の実施・参加状況等から、職員の資質向上に向けた高い意識が感じられ、利用者支援、職員育成、地域貢献のバランスがとれた運営がされている。

4 平成22年度の管理運営(事業執行)に対する指導事項等

引き続き利用者を主体とした質の高いサービスの提供に努めるとともに、民間の施設で受け入れが困難な重度の知的障害者等についても更なる支援の拡充を図ること。